

リーディングDXスクール事業【実践事例】

苅田町立与原小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 自己選択・自己決定の場の設定

① 個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

1 単位時間の学習過程として、課題設定を全体で行った後、学習方法・表現方法を自己選択・自己決定する場をつくり、主体的に学べるようにした。



学習活動

- ・一人て
最後まで考え続ける・学びを深める・
タブレットで友達の考えを参考にする
- ・友達や先生と
一緒に考える・考えを説明し合う

表現方法

- ・ノート
- ・「場合を順序よく整理して」ポータルサイト

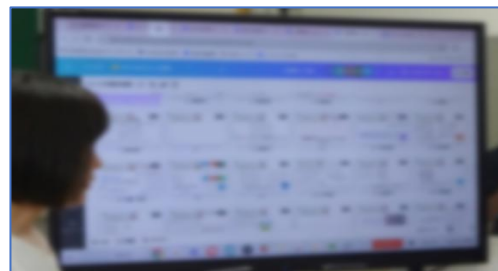
学習活動と表現方法の提示

- A 表や図を使って、組み合わせ方を考え、よりよい方法を選択し、その理由を説明する。
- B 表や図を使って、組み合わせ方を考え、よりよい方法を選択する。
- C 表や図を使って考え、組み合わせ方を考えることができる。

ルーブリックの提示



タブレットとノートの自己選択 電子黒板に全員の学習過程をあげた。



ルーブリックをもとに振り返り、他者参照を可能にした。

これまでの学び方を生かして、学習活動と表現方法を自己選択・自己決定する場を設けた。学習活動においては誰と学ぶのか、表現方法ではノートとタブレットのどちらで表現するかを選択させた。その際、ルーブリックを提示し共有することで、子どもたちがどのように学んでいくとよいか具体的にイメージできるようにした。

学習過程や振り返りを他者参照できるようにしたこと、お互いに学び合ったり、よりよい表現方法を取り入れたりする姿が見られた。

展開における教師の支援は、今後の課題ではあるが、コーチングの関わりが大切ではないかと考えている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

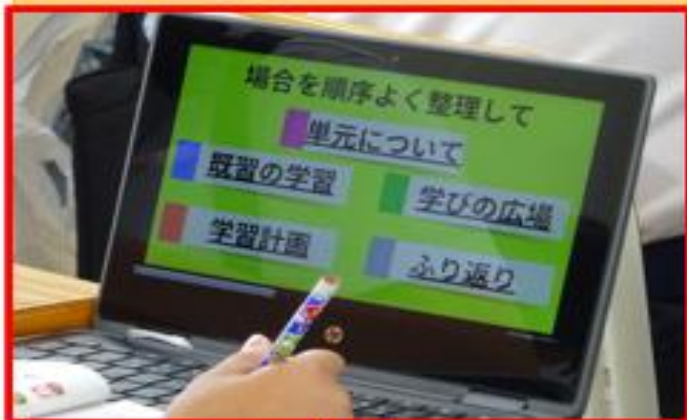
苅田町立与原小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】ポータルサイトの作成と活用

① 個別最適な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

単元のポータルサイトを作成し活用した。ポータルサイトに、1 単元について、2 既習の学習、3 学習計画、4 学びの広場、5 ふり返りの項目をつくったことで、児童がほしい情報を閲覧・確認できるようになった。ループリックをもと振り返る学び方が身についてきた。

単元ごとにポータルサイトを作成



オンラインホワイトボード機能を活用して、単元ごとに「学びの地図」となるポータルサイトを作成した。

単元について

この単元のねらいがわかる。ゴールの姿を確認することができる。

既習の学習



この単元の学習を学ぶための既習事項がわかる。

学びの広場



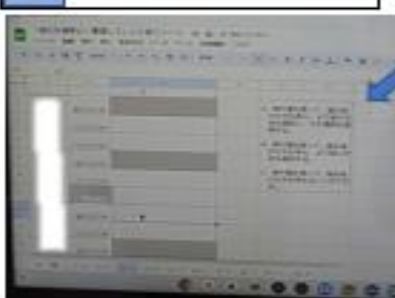
1時間ごとに各自でまとめたノートがあげられ、友達のノートも見ることができる。

学習計画



この単元でどのような問題を解いていくのか確認できる。

ふり返し



ループリック

毎時間のふり返しを蓄積する。ループリックをもとに自己評価し、1時間の学びをスプレッドシートに書き込む欄をつくった。

ポータルサイトの活用については、特に高学年に有効であった。低学年・中学年は、学び方を鍛えながら発達段階に合ったものを考えていく必要がある。

② **情報活用能力の育成** 発達段階に応じて段階的に情報活用能力を育成していくために、「情報活用能力育成のための指導計画」を作成している。各学年で身に付けておくべき活用能力を共通理解し、できることは前倒ししながら活用能力の習得を目指している。今後は、定期的に児童が達成度チェック行っていくことで、児童の達成意欲も高まり、効果的だと考える。

情報活用能力		学年及び学習内容等						
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	
A.知識及び技能	1	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 ①情報技術に関する技能 ②情報及び情報技術の特性の理解 ③記号の組合せ方の理解	コンピュータの存在を知る コンピュータの動作や構造、主要部品などの基本知識 電子ファイルの呼び出しや保存方法 「わたしのねむけはいい」 国文「あゆのこうはしきふしぞうかい」	高度な編集・ペイント加工アプリケーションの活用 大きな情報の分類と組み合わせの体験 「わたしのねむけはいい」 国文「あゆのこうはしきふしぞうかい」	キーボードなどによる文字の正しい入力方法 電子ファイルの編集 インターネット上の情報の閲覧・検索 図画科「コンピュータのローマ字入力」 理科「インターネット社会」 社会科「わたる国とくらし」	キーボードなどによる文字の正しい入力方法 電子ファイルの編集 インターネット上の情報の閲覧・検索 図画科「コンピュータのローマ字入力」 理科「インターネット社会」 社会科「わたる国とくらし」	キーボードなどによる文字の正しい入力方法 電子ファイルの編集 インターネット上の情報の閲覧・検索 図画科「コンピュータのローマ字入力」 理科「インターネット社会」 社会科「わたる国とくらし」	キーボードなどによる文字の正しい入力方法 電子ファイルの編集 インターネット上の情報の閲覧・検索 図画科「コンピュータのローマ字入力」 理科「インターネット社会」 社会科「わたる国とくらし」
	2	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ②情報活用時の計画・改善のための理解や方法の理解	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係
	3	①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・情報セキュリティなどの理解	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール
B.思考力、判断力、表現力	1	①問題解決・探求における情報活用方法の理解 ②必要な情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ③新たな意味や価値を創造する力 ④自分の状況を踏まえて発信する力 ⑤自らの情報活動を評価・改善する力	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係
	2	①責任をもって適切に情報を扱うこととする態度 ②情報社会に参画しようとする態度	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール
C.学びに向かう力、人間性等	1	①問題解決・探求における情報活用方法の理解 ②必要な情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ③新たな意味や価値を創造する力 ④自分の状況を踏まえて発信する力 ⑤自らの情報活動を評価・改善する力	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係	身近なところから様々な情報を活用する方法（図画科「しらせたいな、みせたいな」） 情報の大枠を捉える方法 身近な情報、簡単なものから情報と情報の関係
	2	①責任をもって適切に情報を扱うこととする態度 ②情報社会に参画しようとする態度	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	コンピュータなどを利用するときの基本ルール	

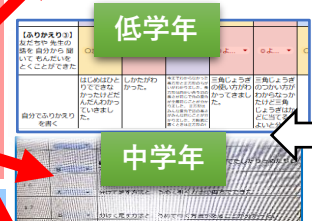
情報技術に関する知識と技能の習得

情報収集・整理・
発信する方法の理解

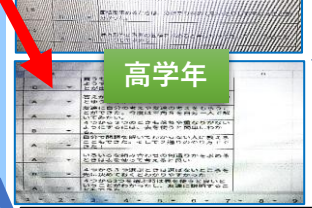
情報を効果的に活用し、自分の考えを形成していく力



ノートに書いた自分の考えを写真に撮り、オンラインホワイトボードソフトにあげる



中学年



高学年



様々な種類と再生可能エネルギー

1. 調べたきっかけ
環境美化について調べたとき、SDGsの7番に気がついた。
そして、エネルギーをみんなにそしてグリーンにについて調べたことにした。

2. 調べたこと
大きな2つの柱で調べた。まず、調査室で資料を取り、再度で読めるエネルギーについて、インターネット、SDGsの目標について調べた。

3. 調べてわかったこと
(1) 火力発電のメリット デメリット

地方発展は、産業振興と深く、農産品の価値が重要
 産業振興に大きく貢献している。
 「農産物加工品はもう一歩もっと知るよ」では、「食産物加工品は必ずしも高
 級することで、力を増したり減らしたりしやすいため特長があります
 」と話す。だが、「食産物加工品は必ずしも、高品質や高価格帯のもの
 になる可能性もあります。」と語る。

(2) 水力発電のメリット デメリット
次に、水力発電は、高いエネルギー密度や管理コストの削減などの特長を持っている。また、「大規模水力発電は、地元の環境に悪影響がなく、大衆の電力供給が可能なです。」と書きだ。しかし、

「ダムなどの大規模な設備が必要で、自然環境に大きな影響を及ぼす。日本ではこれ以上設備を増やすことが難しくなっている」であるようだ。

とはいえ、「お祭りのリストラや廃祭の話題、事故の危険性などのデメリット」もあるようだ。

②自分たちに行える取り組み

(4) まとめ
以上が第一について調べて、我々が知る必要が第一は、知ることである。そして、地味なことも感じるということがわかりました。それから、地味な感じではない、自分たちもよく聞かされたように思います。

【参考】 参考 四國貿易統計年次報告表 2000 年 2 版
 四國表 2001 年 4 月 22 日、2001 年 12 月 22 日 貿易統計部、2002 年 2 月 22 日

ホワイトボードソフトを

活用して、自分の考

えをまとめる

学習のふり返りを
スプレッドシートに
まとめ、学びを蓄
積していく

学習したことや自分で調べたことを図や写真を入れながら、ホワイトボードソフトやスライドにまとめる

ホワイトボードソフトを
活用して、自分の考
えをまとめる



リーディングDXスクール事業【実践事例】

苅田町立与原小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 教職員用ポータルサイトによる情報の一元化（研究授業協議会での活用）

④ **校務DX** 教職員が活用するポータルサイトを作成し、毎日の欠席連絡、行事予定の確認、毎週行う「気になる子のチェック」、毎月行う「いじめアンケート」や安全点検など、あらゆる情報をポータルサイトから閲覧・活用できるようにした。その際、スプレッドシートやGoogleフォームを活用することにより、入力や集計が短時間ででき、校務の効率化へと繋がった。例えば、研究授業の際には、指導案を職員用クラスルームから閲覧できるようにし、ペーパーレス化を図った。また、授業後の協議会では、スプレッドシートやGoogleフォーム、chatGPT、オンラインホワイトボードソフトを活用、その場で多くの意見を収集、整理、共有することができた。

与原小学校ポータル

ホーム・職員室・保健室・ICT

欠席連絡の確認

今日、明日の予定の確認

「ETYシート」で気になる事案を共有

情報共有

行事予定

体育関係

人権関係

学力向上関係

各種調査・アンケート

校内研修

その他

安全点検の結果の確認

Googleフォーム

「気になる子チェック」

スプレッドシート

「いじめアンケート」

Googleフォーム

結果の確認

※例えば・・・ポータルサイトの「職員室クラスルーム」から研究授業の協議会で使用する情報の出入力を行う。

自評	質疑応答	指導・助言
前時→「落ちや響けなく」がポイント や達成感・基本問題—自己評価が 多かったが、友達に説明する ことは難しかった 疑問2ルーブリック有効	○通問問題からノート—音読から ノートを使用、評価問題にしている ため ○ルーブリックよりよい方法—通は ないものに注目	自分にとっての学びを身につけてみる。 授業でやる—その場での学びを —全体的な学習—、最終的な —先生が持つ—で自分の学びの場を —ルーブリック— —全体的な学習—で自分の学びの場を —先生が持つ—で自分の学びの場を —ルーブリック— —全体的な学習—で自分の学びの場を —先生が持つ—で自分の学びの場を —ルーブリック—

スプレッドシート
有効だと思われる手立てを入力。
その後研修で学んだことを各自でま
とめ、共有。

令和6年度 第2回与原小学校公開授業 協議会
アンケート

Googleフォーム

有効だと思われる手立てをフォーム
に入力。その後、chatGPTで分類整
理し、全体で共有。

柱① 新津中学校区のめざす子どもの姿

柱② 課題解決力を育成するための手立てについて（ルーブリックとポータルサイト）

活用するための手立てを選択・自己決定について（資料を基に学びと協働的な学びの一歩）

活用するための手立てを選択・自己決定について（資料を基に学びと協働的な学びの一歩）

活用するための手立てを選択・自己決定について（資料を基に学びと協働的な学びの一歩）

ホワイトボードソフト
有効だと思われる手立てをグ
ループで話し合いながら入力。
その後、全体で共有。

教職員用ポータルサイトを作成したことにより、教職員の作業時間が短縮され、業務の効率化を図ることができた。また、校内研修でスプレッドシート、Googleフォーム、ChatGPTを活用したことにより、職員がよさを実感し授業実践での活用への意欲が高まった。事後の教職員ICTアンケートにおいても、「情報活用能力が向上した」と実感している教職員の割合が増加した。今後もICT支援員と連携して、校務の効率化を目指す必要がある。